

農 研 速 報

平成 28 年 11 月 16 日発行

みんなで進めよう
茨城農業改革

県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(11 月 8 日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	対平年 収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4 月 27 日	(あきたこまち) 113	<p>5月第1半旬～7月第1半旬の平均気温は平年よりやや高く(+0.7℃), 日照時間は平年並(102%)で推移した。その結果茎数は平年より多く, 生育はやや早まり, 出穂期は平年に比べ「あきたこまち」で3日, 「コシヒカリ」では2日早まった。</p> <p>7月第2半旬～8月第6半旬の平均気温はやや低く(-0.7℃), 日照時間は平年並(102%)で推移し, また, 台風による倒伏の影響により, 登熟期間が平年よりやや長くなり, 成熟期は両品種とも平年に比べ1日早かった。</p> <p>【あきたこまち】 平年と比較した成熟期の生育は, 稈長・穂長・穂数とも並, 倒伏程度は大きかった。 収量構成要素をみると, 穂数・一穂粒数は並だったが, これらの積である㎡当たり粒数はやや少なかった。千粒重は重く, 登熟歩合はやや高かった。精玄米重は平年比 113%と多かった。 玄米外観品質をみると, 乳白粒が少なかった(-2.0%)。</p>
		(コシヒカリ) 108	<p>【コシヒカリ】 平年と比較した成熟期の生育は, 稈長・穂長・穂数とも並, 倒伏程度は大きかった。 収量構成要素をみると, 穂数・一穂粒数は並だったが, これらの積である㎡当たり粒数はやや多かった。千粒重はやや重く, 登熟歩合は並。精玄米重は平年比 108%とやや多かった。 玄米外観品質をみると, 乳白粒が少なかった(-3.3%)。</p>
		(ふくまる) 106	<p>※参考 【ふくまる】(平成 25～27 年までの 3 年間との比較) 出穂期は平年より2日早く, 成熟期は並。平年と比較した成熟期の生育は, 稈長・穂長は並, 穂数はやや少なく, 倒伏程度は極く大きかった。 収量構成要素をみると, 穂数はやや少なく, 一穂粒数がやや多かったため, ㎡当たり粒数は並。千粒重はやや重く, 登熟歩合は並。精玄米重は平年比 106%とやや多かった。 玄米外観品質をみると, 乳白粒が少なく(-2.6%), 青未熟粒がやや多く(+5.3%), 整粒歩合はやや低かった(-5.8%)。青未熟粒がやや多かった要因として, 登熟終盤(8/16)に通過した台風 7 号による倒伏の影響が挙げられる。</p>

地域名	移植時期	対平年 収量比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	5月6日	<p>(あきたこまち) 106</p> <p>(コシヒカリ) 104</p>	<p>5月第2半旬～7月第1半旬の平均気温は平年よりやや高く(+0.7℃)、日照時間は平年並(100%)で推移した。その結果茎数は平年より多く、生育はやや早まった。7月第2半旬～第5半旬の平均気温は平年より低く(-1.3℃)、日照時間も少なかった(86%)が、それまでの高温による影響で生育は進み、出穂期は「あきたこまち」「コシヒカリ」とも平年より3日早まった。</p> <p>台風による倒伏の影響によって登熟期間が平年よりやや長くなり、成熟期は「あきたこまち」で平年よりも1日早く、「コシヒカリ」では2日早かった。</p> <p>【あきたこまち】 平年と比較した成熟期の生育は、稈長・穂長・穂数とも並。倒伏程度は極く大きかった。 収量構成要素をみると、穂数・一穂粒数・m²当たり粒数は並、千粒重はやや重く、登熟歩合は並。精玄米重は平年比106%とやや多かった。 玄米外観品質をみると、乳白粒が少なかった(-2.4%)。</p> <p>【コシヒカリ】 平年と比較した成熟期の生育は、稈長・穂長・穂数とも並。倒伏程度は大きかった。 収量構成要素をみると、穂数・一穂粒数・m²当たり粒数は並、千粒重はやや重く、登熟歩合は並。精玄米重は平年比104%と平年並だった。 玄米外観品質をみると、乳白粒が少なかった(-2.5%)。</p>

水 稻 の 生 育 状 況

表1 移植時期・品種別の生育・収量(龍ヶ崎市)

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0～5)	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	7/11	-2 (7/13)	-3 (7/14)	8/19	±0 (8/19)	-1 (8/20)	80	100 (80)	100 (80)	18.2	105 (17.3)	103 (17.6)	507	91 (556)	97 (521)	3.0	+1.2 (1.8)	+1.2 (1.8)
	コシヒカリ	7/22	+1 (7/21)	-2 (7/24)	8/29	+1 (8/28)	-1 (8/30)	93	105 (88)	104 (89)	18.0	93 (19.4)	97 (18.6)	506	97 (520)	103 (493)	3.9	+1.6 (2.3)	+1.3 (2.6)
	ふくまる	7/14	-1 (7/15)	-2 (7/16)	8/22	±0 (8/22)	±0 (8/22)	83	103 (80)	100 (82)	19.3	102 (19.0)	103 (18.7)	500	90 (553)	92 (547)	3.8	+1.8 (2.0)	+1.8 (2.0)
5/6	あきたこまち	7/15	-3 (7/18)	-3 (7/18)	8/23	-2 (8/25)	-1 (8/24)	84	104 (81)	102 (82)	17.4	95 (18.4)	96 (18.2)	496	99 (502)	97 (511)	3.5	+1.7 (1.8)	+1.7 (1.8)
	コシヒカリ	7/26	±0 7/26	-3 7/29	9/2	-1 (9/3)	-2 (9/4)	94	105 (90)	104 (90)	18.5	96 (19.1)	100 (18.4)	466	96 (483)	98 (473)	3.8	+1.1 (2.7)	+1.3 (2.5)

移植 時期 (月日)	品 種	精玄米重			1穂籾数			㎡当たり籾数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
4/27	あきたこまち	68.5	103 (66.3)	113 (60.8)	64	89 (72)	96 (67)	324	81 (401)	94 (346)	22.7	112 (20.3)	109 (20.8)	90.3	111 (81.3)	107 (84.6)
	コシヒカリ	64.6	103 (62.6)	108 (59.7)	70	98 (71)	102 (68)	353	95 (370)	105 (337)	21.6	107 (20.2)	103 (20.9)	82.1	98 (83.9)	98 (83.8)
	ふくまる	77.0	105 (73.5)	106 (73.0)	68	102 (67)	105 (65)	341	92 (371)	96 (354)	24.4	105 (23.3)	105 (23.3)	90.8	106 (86.0)	103 (88.4)
5/6	あきたこまち	65.0	103 (63.0)	106 (61.1)	65	91 (72)	100 (65)	321	89 (360)	97 (330)	22.1	109 (20.3)	103 (21.5)	88.5	102 (86.9)	103 (85.9)
	コシヒカリ	60.6	101 (59.9)	104 (58.5)	70	92 (75)	99 (70)	324	90 (360)	98 (330)	21.8	105 (20.7)	103 (21.1)	82.2	103 (79.8)	99 (83.5)

表2 移植時期・品種別の玄米外観品質（龍ヶ崎市）

移植時期 (月日)	品 種	整 粒 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			背白粒 (%)			基白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	91.1	+6.9	+0.1	2.8	+2.0	+1.9	0.4	-6.6	-2.0	1.6	+1.1	+0.8	0.3	-0.7	-1.1	0.3	-0.9	-0.2
			(84.2)	(91.0)		(0.8)	(0.9)		(7.0)	(2.4)		(0.5)	(0.8)		(1.0)	(1.4)		(1.2)	(0.5)
	コシヒカリ	88.2	+2.5	-0.6	3.7	+3.1	+2.4	0.7	-6.2	-3.3	1.5	+0.9	+0.3	0.3	-0.2	-0.6	0.2	-2.9	-1.4
			(85.7)	(88.8)		(0.6)	(1.3)		(6.9)	(4.0)		(0.6)	(1.2)		(0.5)	(0.9)		(3.1)	(1.6)
	ふくまる	86.3	+1.4	-5.3	7.3	+4.7	+5.4	0.2	-6.1	-2.6	0.5	+0.2	+0.1	0.1	±0	±0	0.1	-0.2	-0.2
			(84.9)	(91.6)		(2.6)	(1.9)		(6.3)	(2.8)		(0.3)	(0.4)		(0.1)	(0.1)		(0.3)	(0.3)
5/6	あきたこまち	89.2	+2.7	-2.0	3.3	+1.5	+2.0	0.1	-5.4	-2.4	1.5	+1.1	+0.9	1.4	+0.5	±0	0.2	-1.1	-0.5
			(86.5)	(91.2)		(1.8)	(1.3)		(5.5)	(2.5)		(0.4)	(0.6)		(0.9)	(1.4)		(1.3)	(0.7)
	コシヒカリ	86.7	-0.3	-0.3	3.4	+2.7	+2.1	2.1	-3.9	-2.5	2.0	+1.6	+0.5	1.2	+0.4	+0.6	0.4	-1.4	-2.0
			(87.0)	(87.0)		(0.7)	(1.3)		(6.0)	(4.6)		(0.4)	(1.5)		(0.8)	(0.6)		(1.8)	(2.4)

移植時期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	0.5	±0	±0	3.1	-1.8	+1.3
			(0.5)	(0.5)		(4.9)	(1.8)
	コシヒカリ	0.2	-0.5	-0.4	5.4	+3.4	+4.4
			(0.7)	(0.6)		(2.0)	(1.0)
	ふくまる	0.7	-0.8	-0.3	5.1	+1.0	+3.2
			(1.5)	(1.0)		(4.1)	(1.9)
5/6	あきたこまち	0.2	-0.7	-0.2	4.2	+1.4	+2.9
			(0.9)	(0.4)		(2.8)	(1.3)
	コシヒカリ	0.4	+0.2	-0.3	4.1	+0.9	+2.8
			(0.2)	(0.7)		(3.2)	(1.3)

注1) ()内は前年または平年の実数

注2) 玄米外観品質は目視による調査

【栽培概要】

1.苗質: 稚苗

2.植え付け本数: 5本/株

3.栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/㎡

ふくまる 18.5株/㎡

4.基肥量 あきたこまち N:P₂O₅:K₂O = 0.7:0.7:0.7(kg/a)

コシヒカリ N:P₂O₅:K₂O = 0.6:0.6:0.6(kg/a)

ふくまる N:P₂O₅:K₂O = 0.8:0.8:0.8(kg/a)

5.追肥時期及び追肥施用量

(4月27日移植) あきたこまち 6月24日 N:K₂O = 0.3:0.3(kg/a)

コシヒカリ 7月 8日 N:K₂O = 0.3:0.3(kg/a)

ふくまる 6月29日 N:K₂O = 0.4:0.4(kg/a)

(5月6日移植) あきたこまち 7月 1日 N:K₂O = 0.3:0.3(kg/a)

コシヒカリ 7月12日 N:K₂O = 0.3:0.3(kg/a)

6.倒伏程度: 0(無)～5(甚)の6段階評価

【玄米外観品質】

その他は、被害粒・着色粒・死米等を合計したもの

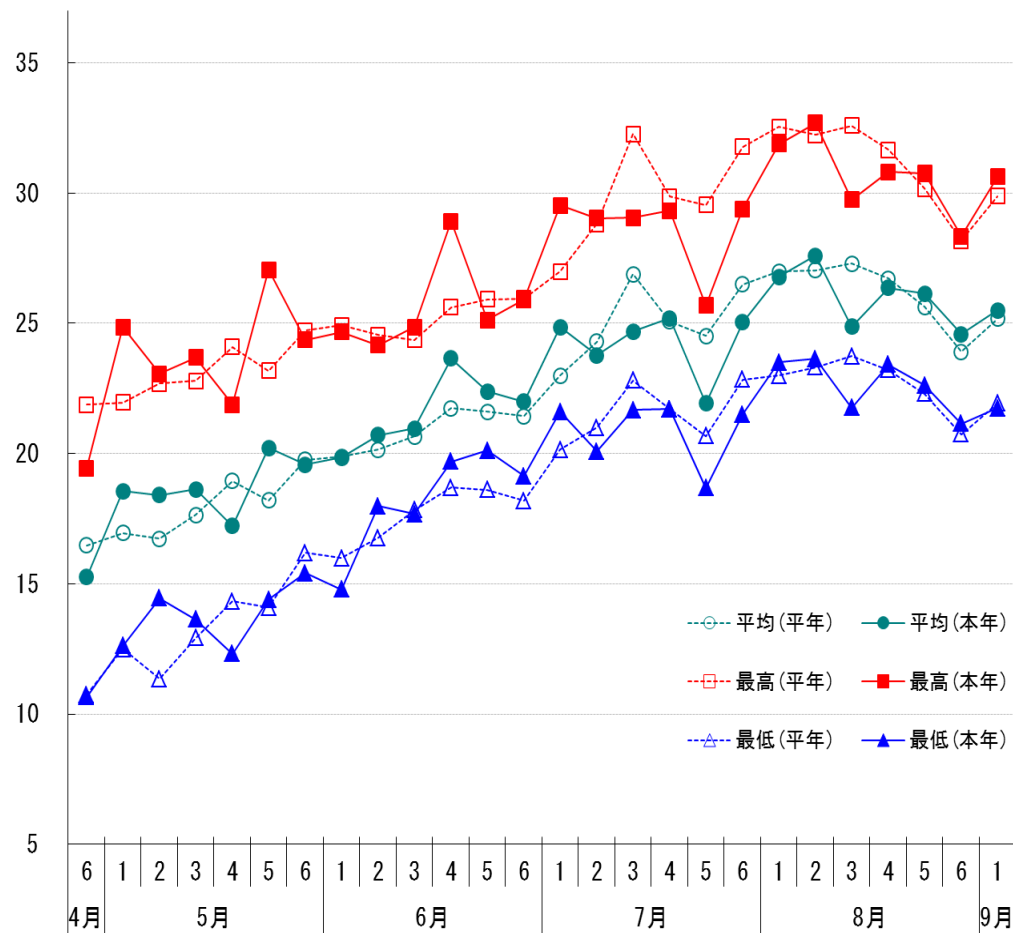
【平年値】

平成23～27年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため、平年値は平成25～27年の3年間の平均値

気温の推移

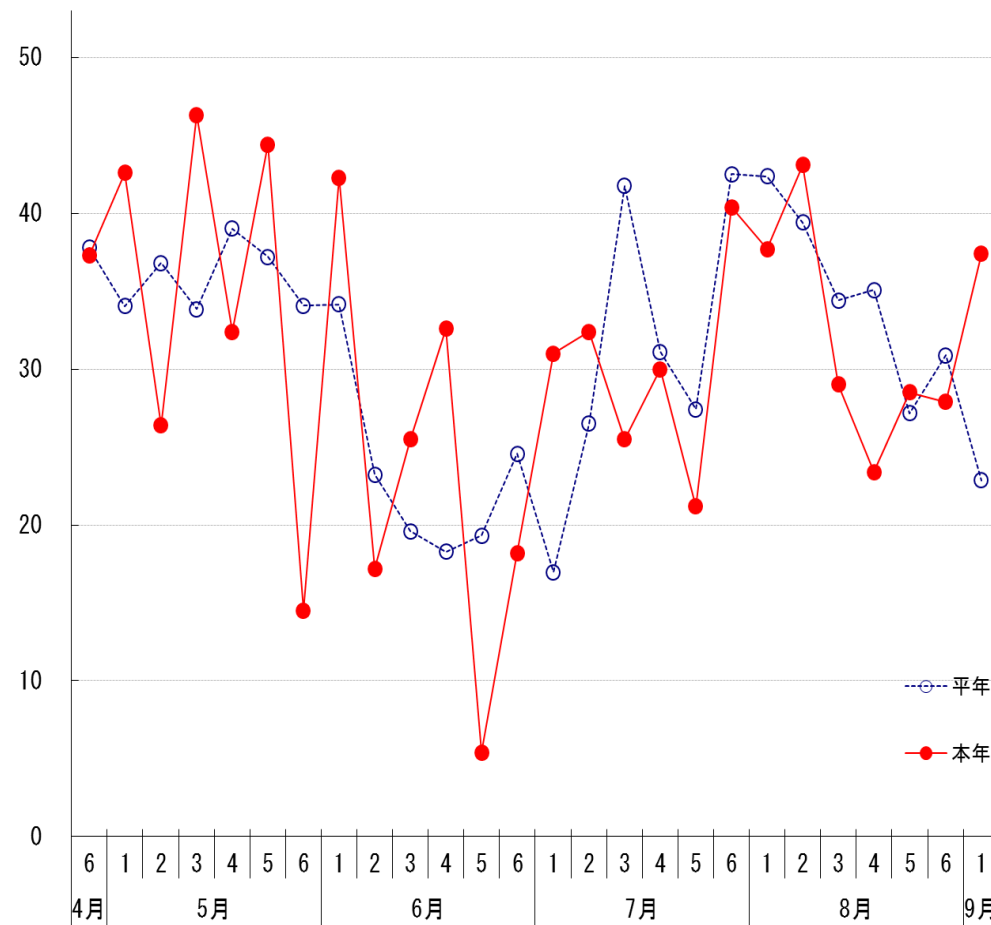
(°C)



注) 平年値: 平成23-27年の5年間の平均値

日照時間の推移

(hr)



注) 平年値: 平成23-27年の5年間の平均値